

# PARTNER

PARTNER

2010.10.4 発行

No. 32

主な内容

- 未来につなげるまちづくり
- 今後のイベント情報
- 増加するDV相談件数
- 来年度改正 男女共同参画プラン
- 話そう、働こう、育てよう、いっしょに。

発行 はだの市民が創る男女共同社会推進会議

事務局 秦野市役所くらし安心部市民自治振興課市民活動支援班  
秦野市桜町 1-3-2 TEL.0463-82-5118 FAX.0463-82-6793

E-mail siminjiti@city.hadano.kanagawa.jp

西沢氏が見つけた

## 知らない 秦野のここを もつた 知らないなんて

身近なことを知ることが大切と語る西沢氏  
あなたも秦野の良さを見直しませんか。



西沢依里子氏

日本人は富士山への意識が高い。秦野は、富士山が見えますね。そこ忘れていませんか。

権現山から見る富士山



幼稚園児を連れてお母さん、波多野城址を知らなかった。東幼稚園の目の前にありますよ。

寺山の城址



秦野は八重桜の花の塩漬けが日本一なんです。とってもおいしかったです。

千村の八重桜



歌人、前田夕暮の石碑がどこにあるか知っていますか。市内に10カ所もあります。

おおね公園の石碑



## みんな 男女の発想で 未来につなげる まちづくり

6月26日に開催した男女共同社会フォーラム2010の講師、西沢依里子氏は「個性を大切にしたい人と人とのつながりがふるさとをつくる」と語る。

老若男女を問わず誰もが居場所のあるまち、輝き続けるまちにするには、何が必要なのだろうか。

### 秦野のこと 知っていますか

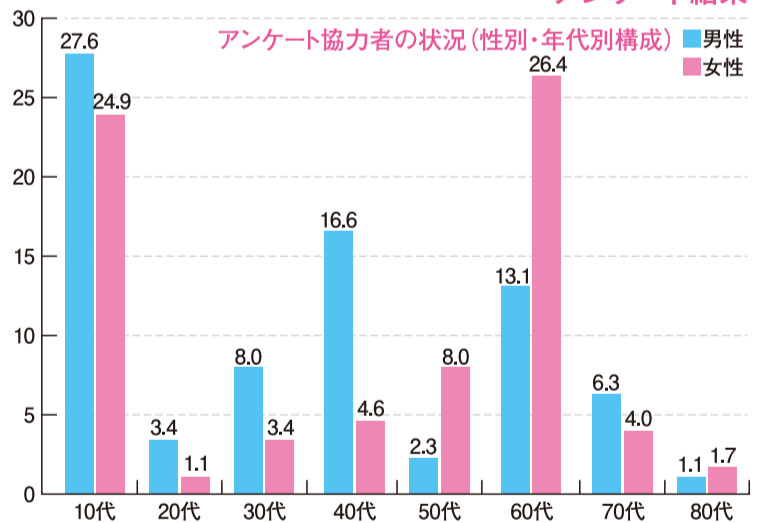
地域振興コミュニケーションターとして日本全国を飛び回っている西沢氏が日々感じていることは、「地元の人ほど地元のことを知らない」ということ。本当にそうなのだろうか？ 私たちはそれを確かめるため、緊急アンケートを行った。

### ふるさと 目を向け考える

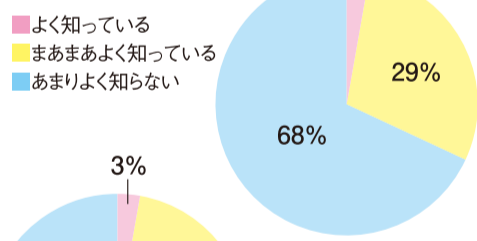
その結果、約半数が秦野の歴史や名所を知らないということが分かった。また、住みよいまちづくりのためには、秦野のまちそのものをもっとよく知り、自然や人とのふれあいを大切にするということが重要だということを再認識した。

### アンケート結果

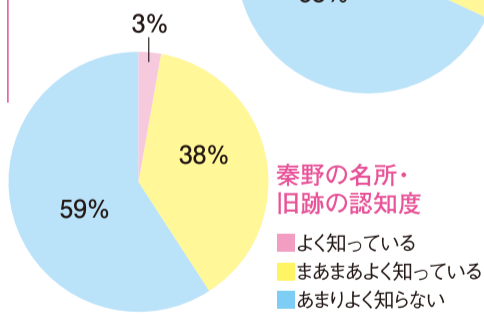
アンケート協力者の状況 (性別・年代別構成)



### 秦野の歴史の 認知度



### 秦野の名所・ 旧跡の認知度



### 今の秦野をどう見ているのか

どの年代も、自然が多く、水・空気がおいしい秦野が大好きだということが分かった。また、「自然の良さを残していきたい」「今のまま変わらさずこのまじい」という声も多かった。

### 理想とするまちは

「明るくみんなが優しいまち」「自分の意見がはっきり言えて、互いに助けあえるまち」「自然と便利さがバランスよく調和しているまち」などの意見が目立った。

### よりよい秦野にするには

「他人を気づかうようにしたい」「一人ひとりの認識を高める」「互いに仲良くする」など内面のあり方を指摘する人が多かった。よりよいまちづくりのためにみんな前向きだが、中でも子どもたちは、自分がどうすべきかという視点に立ち、未来の秦野を真剣に考えている。その思いは未来像を描く絵にも表れていて、人と人との関わりがいかにか大切かということが伝わってくる。



地域の人が家族のように仲良くできる秦野に輝くまち未来のはだの絵画コンクール 高田香織さんの作品

### 認めあえば助けあえる

個人主義が利己主義になってしまっているといわれる昨今。一人ひとりが自己主張でき、お互いを理解し認めあうという心がけが必要なのではないだろうか。個々を認めあうという努力は、家族、地域との強いきずなを生み出す。さらに、年齢や性別に関係なくみんなの発想を生かすことができれば、それは、老若男女の笑顔が絶えない居心地のよいまちへとつながることだろう。